

提出先 国土交通省

**【提案項目】**

「地域資源を活用したにぎわい拠点づくり」に資するため、インターチェンジ5 km圏域の拡大を図る自動車専用道路の整備を強力に促進するとともに、次の路線の整備促進に確実な財源措置等を講じること。

- 1 自動車専用道路 I Cへのアクセス改善
  - 【大 山】新東名高速道路 伊勢原北 I Cアクセス
    - ・ 県道603号（上粕屋厚木）
    - ・ 県道611号（大山板戸）
  - 【大 磯】新湘南バイパス 茅ヶ崎海岸 I Cアクセス
    - ・ 国道134号〔高浜台交差点以西〕
- 2 三浦半島のモビリティ向上
  - 【城ヶ島】三浦半島の縦軸延伸
    - ・ 県道26号（横須賀三崎）〔三浦縦貫道路Ⅱ期〕
- 3 箱根の更なる魅力を高める移動環境の整備
  - 【大涌谷】箱根大涌谷園地再整備
    - ・ 県道734号（大涌谷小涌谷）歩道整備

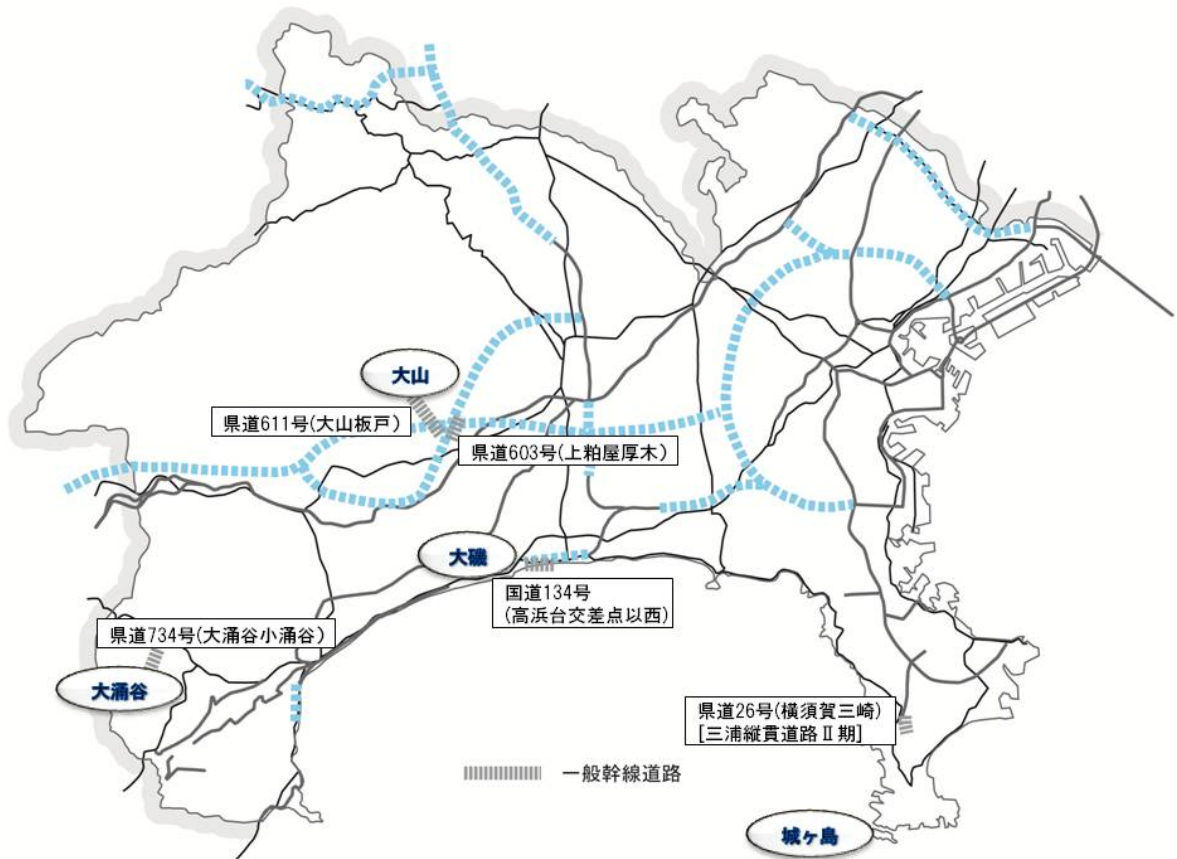
**【提案理由等】**

本県は、「かながわランドデザイン」において、「地域資源を活用したにぎわい拠点づくり」として「江の島」、「大涌谷」を、「新たな観光の核づくり」として、「城ヶ島」、「大山」、「大磯」を位置付けた。

箱根においては、交通及び観光に携わる行政と民間等の協働により、誰もが快適に観光を楽しめる移動環境を実現するため、交通混雑の緩和や回遊性向上に取り組んできた（箱根スマイル2000万人プロジェクト）。

箱根大涌谷園地では、現在、民間事業者、町、県等が協働して再整備に取り組んでおり、民間事業者による「箱根ロープウェイ大涌谷駅」の駅舎建替えや「大涌谷観光センター」などの整備にあわせて、県では歩道の整備を行う。

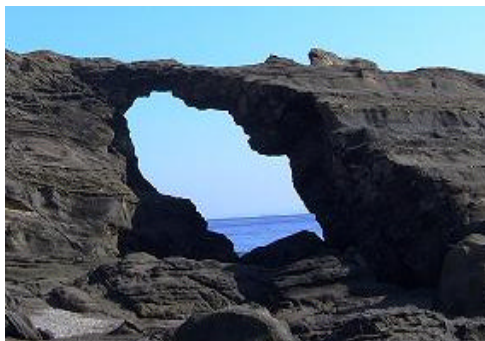
また、道路整備においては、「かながわのみちづくり計画」に基づき、自動車専用道路網の整備促進、一般幹線道路網等の整備促進を進めているが、高速性、定時性及び快適性などを備えた自動車専用道路の飛躍的な整備率向上など、首都圏、東北圏、日本海圏域などと広域ネットワークが形成されつつあり、「新たな集客」も期待される中、にぎわい拠点づくりにも資する様々な道路事業を展開することが不可欠である。



大山



大磯



城ヶ島



大涌谷

(神奈川県担当課：県土整備局道路企画課、道路管理課、道路整備課)